

書いて作る 勤行聖典 ～讃仏偈・重誓偈～



完成図

本教材のねらい

「讃仏偈」「重誓偈」は、親鸞聖人が浄土真宗の教えのよりどころとされた「浄土三部経」のひとつである『仏説無量寿経』に説かれ、浄土真宗では、身近な偈頌(詩句)として、つね日ごろからお勤めに用いられてきました。

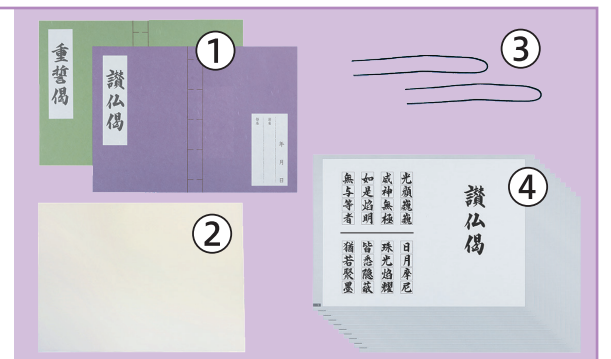
経典の書写は、学んだり経典を流布したりすることが目的であり、それによって釈尊の説かれた阿弥陀仏のみ教えが伝えられてきました。親鸞聖人もまた、師である法然聖人から『選択本願念仏集』の書写を許され、そのよろこびを主著である『教行信証』の最後(後序)に述べられています。

印刷技術が進歩した現代、日本にまで伝えてくださった祖師方の思いやご苦勞を十分に感じる事が難しくなっているのではないのでしょうか。

深遠なる仏祖のことばである偈文を、一文字一文字、丁寧に書いてあじわうことを通して、経文に込められた深いおこころを感じ取っていただきたいと思います。

セット内容

- ① 表紙(讃仏偈、重誓偈:各1枚)
- ② 半紙(15枚 予備含む)※半紙はつるつるした面が表です。
- ③ 綴じ紐(2本)
- ④ お手本シート(讃仏偈:6枚、重誓偈:4枚)



つかいかた



1 お手本シートを参考に(敷いても結構です)、一文字一文字を大切に書写します。



2 書き終えたら、半紙をすべて二つ折り(山折り)にします。



3 表紙を谷折りにして、本文の束を挟みます。



4 パンチで2穴をあけます(クリップなどを利用すると、ずれにくくなり便利です)。



5 裏表紙から綴じ紐を穴に通し、写真のように表で結びます。



6 完成。
毎日のお勤めなどにご活用ください。

※お手本シートには上下段を分ける線が入っています。同様に、完成した勤行聖典に書き込んでおくと読む際に便利です。

※ご文の意味や味わいについては、『書いて味わう讃仏偈 重誓偈』(本願寺出版社)を、あわせてご活用ください。

編集・発行：本願寺出版社
〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル(西本願寺)
TEL 075(371)4171 FAX 075(341)7753
<https://hongwanji-shuppan.com/>
印刷：株式会社アール工芸印刷社

2024年12月20日 第1刷発行

定価1,320円(本体1,200円+税)
KR02-SH1-①21-42



2 000100 070291